|  |
| --- |
| 名寄市職労青年部VOL.２２　２０１６年６月６日 |
| C:\Users\1036\Desktop\夏期交\1463399889037.jpgC:\Users\1036\Desktop\夏期交\1463399869125.jpgH:\教宣\イラスト\illust2960.pngH:\教宣\イラスト\illust2960.pngH:\教宣\イラスト\illust2960.pngH:\教宣\イラスト\illust2960.pngH:\教宣\イラスト\orobou.gifH:\教宣\イラスト\orobou.gif△政治の大切さについて話す米田さん△熱く講演する高橋道本部青年部副部長自治労北海道本部青年部副部長の高橋さんの講演では、今職場で起きていることは「当たり前」なのか、ということを学習しました。現在の職場で起きていることとして、公務員全体として多くの人員が削減されており、この１０年間で、夏期交に参加した仲間が働く10の市町村では５人に１人以上の割合で人員が削減されていることが話されました。人員が削減され、業務量や時間外労働の増加から心身の不調、休職や退職に繋がり、さらに業務量が増える…といった、負のスパイラルについて学びました。2014年に礼文町で起こった大雨災害を例に挙げ、２人の死亡者が出たことについて、礼文町長が人員が少なかったと説明をしていることからも、今の職場実態が抱える危険性について考える機会となりました。また、「『メンタルの不調で休職する人にどう接したらいいのか』という声も増えているが、なぜメンタルが不調になったのかを考える必要もある」と話され、人員削減によって起きているさまざまな現状の問題について学びました。　労働組合とは何なのかと、青年部運動では何をするのかを改めて確認し、全道の仲間の取り組みの一部について紹介がありました。「みんな同じ青年であり、できないことはない。仲間のたたかいに学ぼう」と話されました。　私たちの賃金・労働条件・仕事・生活すべては政治で決まるため、よく聞かれている言葉ですが、政治に無関心であっても無関係ではいられないということが話されました。自治体職員として、どういう街にしたいのかという視点からも、私たちの思いを政治の場に届けてくれる政治家を送り出していかなければならないという、政治闘争の必要性について触れられました。　最後に、仕事でも組合でも助け合える「なかま」をつくろうと話され、講演を終了しました。　２日目の講演では、自治労留萌地方本部書記長の米田さんから政治についての講演がありました。　私たちの生活・職場実態は、国民が選んだ政治家がつくり出しています。私たちが思い描く職場環境や社会にするために政治に取り組む必要があり、政治無くして改善はできない、との話がありました。また、反核平和の火リレーや戦争法反対署名などの日頃の組合活動や、仲間の思いを集約して理事者にぶつけるというのも政治に直結しています。私たちの声を政策にしてくれる政治家を送り出す必要性や、政治に対して前向きになろうと話されました。　5月14日から15日にかけて、第15回自治労旭川地方協青婦協夏期交流集会が羽幌町で開催され、上川・留萌・宗谷３地本から、32単組・総支部154人の仲間が参加しました。　講演、分散会、分散会報告、全体交流、文化交流、中央交参加者の決意表明があり、地本の枠を越え、学習・交流を深めた２日間となりました。 |

|  |
| --- |
| H:\教宣\イラスト\dbdb468af80fe4210b33ffe99813b50b.pngC:\Users\1036\Desktop\夏期交\1464496738096.jpgC:\Users\1036\Desktop\夏期交\1463399932975.jpgC:\Users\1036\Desktop\夏期交\1463399931185.jpgC:\Users\1036\Desktop\夏期交\1463399832553.jpgH:\教宣\イラスト\f994c2ef73526533d30e33e34fe8e0a2.pngC:\Users\1036\Desktop\夏期交\1464496732164.jpgH:\教宣\イラスト\dbdb468af80fe4210b33ffe99813b50b.pngH:\教宣\イラスト\dbdb468af80fe4210b33ffe99813b50b.pngC:\Users\1036\Desktop\夏期交\1464496740858.jpgH:\教宣\イラスト\f994c2ef73526533d30e33e34fe8e0a2.pngC:\Users\1036\Desktop\夏期交\1463399923659.jpgH:\教宣\イラスト\b_simple_128_2L.pngH:\教宣\イラスト\f994c2ef73526533d30e33e34fe8e0a2.pngH:\教宣\イラスト\f994c2ef73526533d30e33e34fe8e0a2.pngH:\教宣\イラスト\dbdb468af80fe4210b33ffe99813b50b.pngH:\教宣\イラスト\dbdb468af80fe4210b33ffe99813b50b.pngH:\教宣\イラスト\f994c2ef73526533d30e33e34fe8e0a2.pngH:\教宣\イラスト\dbdb468af80fe4210b33ffe99813b50b.pngC:\Users\1036\Desktop\夏期交\1463399938228.jpgH:\教宣\イラスト\f994c2ef73526533d30e33e34fe8e0a2.pngC:\Users\1036\Desktop\夏期交\1463399925837.jpg★礼文町の大雨災害で２人死んでしまったことについて町長が「職員が足りず、災害に対応しきれなかった」と発言した話を聞いて、自分も災害対応をする身なので危険を感じた。（神田伸彦）★この集会で話した人たちと仕事のことで聞き合えたり、また何かの集会で会って話せたらいいな～と思いました。（佐藤唯）★当たり前のことを当たり前だと思わず、どうしてそうなのか考えるべきだと感じました（加藤諒）★民主党政権時にメディアによって駄目な政権というイメージを抱いていたが、交付税の関係など地方自治体にとって良いことが起きていたことを知れたことで、自治労で推薦していた意味がわかった。（柳谷樹梨矢）★きっとどこでも同じ状況で超勤の問題や人員が足りていないという問題を抱えているんだなと実感した。それを打破するにはこういった交流をして行くことが大事なんだと思いました。（遠藤早紀）★自分の悩みをどこに相談したらいいかわからないという話がありました。まずは、周りの話しやすい職員や組合に相談することが大切だなと感じる分散会でした。（合掌純一）★私たちが選んだ政治家が国を動かしている＝国は国民が作っているということを再認識した。選挙や政治闘争の重要性を感じた。（合掌恵）★自分の単組にはない問題を知るためにも交流は大事だと思いました。（正田かおり）★民主党が政権を持っていたときに自分たちへ影響の多い政策があったことが理解できた（渡辺岬）★いろいろな方と知り合えたし、もともと知り合いだった方々とはさらに仲良くなれたと思った。仲間づくりという点も非常に意義のある集会となった。同世代や近しい職種・職場の仲間が他のマチにいるのは心強いと思った。（仁尾卓矢）★夏期交を通して横のつながりが広がるのでまだ参加したことない人は少し興味をもってみるといいなと思いました。（平間美保）★災害が起きた時に人員が足りなかったと話していたことが印象に残っている。緊急時に対応できるだけの人員は必要だと感じた。（能登谷泰）　分散会では、日ごろ感じている職場の課題や事実を持ち寄り、職場実態を中心に話し合いました。　分散会の中では「勤務終了時間は17時15分だが、19時くらいまで残った場合の時間外は出ていない。遅くまで残った場合は18時からの分しか時間外が出ていない。」「休日に町内のイベントがあるとボランティアに行くが、庁用車を使用して事故が発生しても労災にならない。もちろんボランティアなので代休や時間外は発生しない。」「通勤手当は２キロ以上から出るが、町外から通勤しても一律で２千円と決まっている。」といった、日ごろの不満や不安の声が出されていました。　分散会報告からも「不払い超勤について実損額を計算し、当局へ訴えていこうと動いている。」「時間外が多いのは自分の働き方が悪いと思っていたが職場環境の問題だと気付くことができた。」などの決意や思いが話されました。　このような気付きや決意は仲間と交流することから生まれます。他の単組状況や取り組みから学べることもたくさんありますので、是非いろいろな集会に参加してみましょう♪ |